

3Dプリンタとプロジェクションマッピング

目的

Metasequoiaを使って琴柱灯籠を作成し3Dプリンタで出力する。その作品の背景にアニメーションを投影する。

概要

3Dプリンタで作品を作りそれにプロジェクションマッピングを使ってアニメーションを投影した。

説明

スケジュール

3Dプリンタ班		プロジェクションマッピング班	
5月	テーマ・作品決め	5月	テーマ・作品決め
6月	デザイン案を出す	6月	デザイン案を出す
7・8月	モニュメント作成	輝きプロジェクトの テーマ決め	
9月	メタセコイアの勉強	7・8月	プログラム学習
10月	メタセコイアで作成	9月	アニメーション作成
11月	3Dプリンタで試作	輝きプロジェクト仕上げ	
12月	投影	10月	輝きプロジェクト本番
1月	発表練習	11月	モニュメントに投影
		12月	投影



まず初めに発砲スチロールで実際の大さの1/100サイズのモニュメントを作成

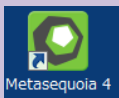
モニュメントの大きさを参考に3Dプリンタを使って出力した上部中部下部の3つに分けて作成



使用したもの



ダヴィンチ Jr



Metasequoia 4



白と黄色のフィラメントを使用して作成した2つの琴柱灯籠にアニメーションを投影した

考察

プロジェクションマッピングの動画制作が上手くいかなかったことから早期からプログラム学習を行えばより良い作品になったと考える。プロジェクションマッピングは室内・室外両方で楽しむことができるものである。

3Dプリンタは小さなものでも出力できるので今後人の手で制作が困難なものでも短時間でできるのではないかと考える。

感想

スケジュールと制作進行があわなかったときがあったがお互いコミュニケーションをとり調整できた。

また輝きプロジェクトに参加することで我が校の歴史を学ぶことができ他学科との交流も深めることができた。